愛労連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町８－18
労働会館第２ビル
ＴＥＬ　052－871－5433
発行人　阿　部　精　六
２月号　1997年２月10日

２.27全国統一行動
大幅賃上げ、消費税増税NO！
医療改悪反対で
国民と共同して闘おう

97国民春闘

愛労連は１月25日、愛知県トラック会館で第16回臨時大会をおこない、97国民春闘方針と名古屋市長選方針、市長選候補者に「革新市政の会」推薦の大島りょうまん氏の推薦を決定しました。

挨拶の中で井上議長は、「愛労連が国民の暮らしや権利を守る先頭にたとう」と呼びかけました。

討論では、26名の代議員が発言し、労働者・国民と共同し、要求実現のために、職場や地域で運動を広げることを確認しあいました。

決意を表明する大島りょうまん氏

全労連・愛労連のイニシアチブで
国民のくらしと権利をたたかいに

愛労連 第16回 臨時大会

大島りょうまん氏あいさつ

挨拶にたった井上利雄議長は、「昨年からの共同を広げる取り組みの中で、あらゆる傾向の労働組合とも要求で一致できる展望がもてた。

財界や政府・自民党の悪政のもとで、全労連・愛労連がたたかいのイニシアチブをもち、九七春闘を国民のくらしと権利を守る大闘争にしよう」と呼びかけました。

また、四月の名古屋市長選挙にふれて、「大島さんという素晴らしい候補者を擁立できた。連合独占の各種審議委員会をただすなど、働くものの権利を守り、二百十万市民の要求をかち取るために、再び名古屋に革新市政を実現しよう」と訴えました。

大きな拍手で迎えられ、来賓挨拶された大島りょうまん名古屋市長候補者は、「国政では、政府が九兆円もの国民負担を押しつけようとしている。このような住民犠牲の自民党政治を受け入れる地方自治体であってはならない。

多くの市民から、自分たちの要求や願いが届かなくなったという声を聞いている。西尾名古屋市政は、デザイン博の赤字かくしで、灰皿を四万円で買い取るなどの不正支出や新南陽工場汚職など、市民生活より、特定企業が儲る政治をしている。税金のムダ使いをなくし、福祉・暮らし優先の市民が主人公の市政を二十一世紀に向かっていっしょにつくっていきたい」と市民本位の政治実現の決意を述べました。

名古屋市長選　大島りょうまん氏 推薦決定

運動のひろがり確信した討論

午後からは、二十六名の代議員が討論に参加しました。年金者組合や医労連の代議員は、「医療保険改悪阻止をはじめ社会保障の充実と大幅賃上げを春闘の二つの柱として闘おう」と発言。港地区労や一宮労連の代議員は、「大企業は、団体生命保険加入で、労働者を食い物にしている。大企業の横暴を許さないたたかいとして愛労連で位置づけよ」と。自治労連、千種・名東労連、ＪＭＩＵや全印総連などの代議員は、「秋年末闘争の中でおこなった総対話運動に確信を持ち、この春闘でもうひとまわり大きく共同を広げる」

また、全労働や婦人協からは、「労働法制の全面改悪がすすめられている。愛知県連絡会に結集して運動を大きく」など、など。発言が相次ぎました。

最後に幹事会から、①市長選挙は、勝ち抜く決意で勢いと明るさで頑張りきろう。②いま地域運動がおもしろい。地域春闘の一層の拡大・強化をしよう。③共同の拡大では、一歩踏みだした活動を通して確信になった。攻撃に負けないで情勢つかみがんばろう。④二・一四愛知総行動、トヨタ総行動など大企業の横暴を民主的に規制する行動に力を集中しよう。九七春闘勝利に力をあわせ、たたかおうと答弁がありました。

日本海重油流出事故支援について

第16回臨時大会で取り組みを決定しました。

1．被災地支援カンパの取り組み
カンパの集約は２月末、最終集約は３月末です。
カンパは全労連を通じて現地に届けます。

2．現地の要請にもとづき支援ボランテイアを組織します。

代議員発言（要旨）

地域の力かり共同の拡大を

梶原代議員（ＪＭＩＵ）

この春闘のかまえとして、広く金属労働者に足を運んで共同の申し入れをしようと、三次にわたって、要求アンケート、二月二日の金属労働者の総決起集会への参加要請、春闘を共同でやろう、日本から物づくりをなくすなという四つの課題をセットにして申し入れをおこなってきた。

十五の組合へ申し入れ、五つの組合から趣旨に賛同して、アンケートが届いている。

これからさらに広げようと、それぞれの地域で、地域労連の皆さんの力をかりながら申し入れ活動をやることを計画している。

職場に足を運べば、いろんな状況が聞けるし、悩みは同じだということが実感できる。

今にも倒産しそうな職場もいくつかあり、職場に閉じこもっては元気が出ない。積極的に申し入れ、共同を広げたい。

市民はかわってきている

三宅代議員（自治労連）

昨年の東京足立区、狛江市の選挙や天白の市議補選の結果をみても、住民が変化してきていることが実感としてわかる。

「開かれた市政をつくる会」ができたことは、今までは「革新市政の会頑張れ」と見ていた人達が、そうはいかんと思って立ち上がった結果だ。自治労連名古屋ブロックは、各行政区で「あんきに暮らせる会」をつくり、高齢者福祉の運動をやっている。この会には民生委員や区政協力委員が積極的に参加をしてきている。

また去年、「看護婦とヘルパーの増員」署名を区政協力委員や民生委員などに郵送したが、その内の三分の一を超える署名が返送されてきた。まだ、変化がある。青年会議所や商店街振興会などに懇談の呼びかをしたら、受けてくれる。自分たちの要求や願いはどうなるか、市役所の職員に話してみたいと思っている。市民は変わりつつあるし、変わってきている。乱脈腐敗の市政と言われると胸がいたい。自治体労働者は市民の為に仕事をしている。こんな市政は変えたい。力をあわせ四月には、名古屋に革新市政を誕生させたい。

天白の風―知多に

一月十二日の名古屋市天白区の市議補選で共産党の候補者が勝った。その瞬間、わたしは「うそおー！本当？」の思いが交錯した。全国で国民は時の悪政に対して反乱を起こしている感じだ。身震いをする思いである。

そこまできた「私たちの風」を知多の地域にも吹かせたい。こんな思いでいっぱいだ。

わたしは半田市役所の職員だが、ご他聞にもれず、「行政改革」という自治体リストラにどう立ちむかうかが大きな課題だ。

現業職員が十六人も定年退職などで退職するのに、補充は五人。〝風〟はそう簡単には、職場の隅々まで呼び起こすことはなかなかできないが、何かわくわくするものがある。

昨年八月に大府のベッドメーカー「ムーンベッド」に組合ができ、知多地域労連に加入した。倒産の恐れあり！の危機のもとでの組合結成だった。案の定、十月に倒産して、いまは、保全管理人のもとで再建目指して頑張っている。〝官民一体〟が少しでもすすむようにしたい。

地域に根ざした運動本格化

商店400店舗へアンケート

知多労連事務局長　久礼憲一

地域に打ってでよう

「主戦場は地域にあり！」とよく言われる。

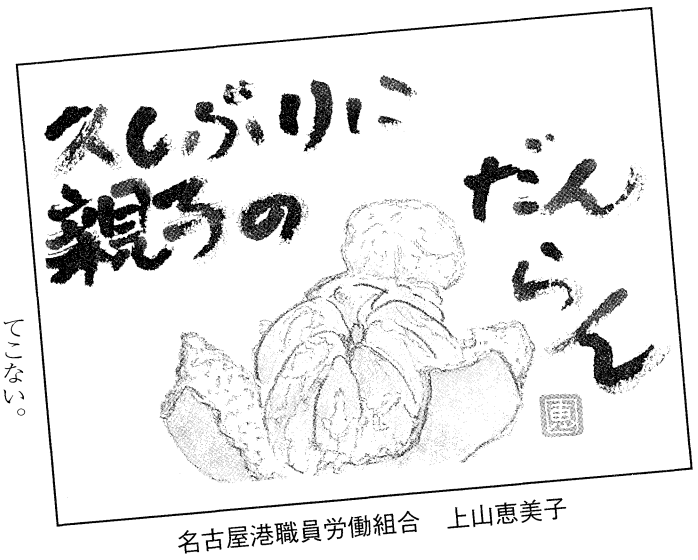
昨年は久しぶりに半田の街でデモができた。デモができるとその運動が成功したと思える。

昨年、賃金労働学校、立腰教育反対、学習会など考えてみると結構いろんなことを取り組んだ。けど、デモ以外はどうも室内で腰をおろしての運動が多かった。

今年は、半田市職が「商店の実情を知る」アンケート活動を四〇〇店舗目標におこなう。いよいよ、地域に根ざした運動が本格化する感がある。

「地域に打ってでる！」というとなかなかできない課題。しかしこれをやらないと天白の風は知多には吹いてこない。

私の夢は商店の人、農家の人などと労働者がいっしょになってメーデーを地元でおこなうこと。その足がかりを今年はつけたい。



名古屋港職員労働組合　上山恵美子

労働者へ 労働法制改悪 国民 もっと知らせよう！

「労働法制の改悪に反対し、人間らしく働くルールの確立めざす」愛知連絡会（略称・労働法制愛知連絡会）の結成総会が、一月二八日におこなわれ、国公、運輸一般、医労連、自治労連、建設一般、全国一般、全印総連、愛労連婦人協をはじめMIC、春闘共闘、自由法曹団、新婦人、労問研、健康センターなどから四一人が参加しました。

総会では、「労働法制の改悪作業が急ピッチですすんでいる背景には、大企業系列での〝人ころがし〟を容易にすすめるための職業紹介事業進出への強い要求があることを強調、有料職業紹介事業や裁量労働制など国会上程もされず政・省令だけで実行されていく危険」などが指摘され、反対世論を急速に盛り上げていく必要性を訴えました。

参加者からは、「県下で十万の女子保護規定撤廃反対署名をとりくんでいる。地域では、お母さんたちが『これは、わが子の、夫の問題』と真剣。街頭の署名行動は、消費税と違ってむつかしいと思ったが、実際は違った。これもやりはじめたらやめられない署名」（新婦人）、「トラック業界は、自動車運転者の労働時間に関する改善基準（労働大臣告示）で、いまでも四週二七三時間、年間で三千五百時間を超える勤務時間が認められており、交通事故も絶えない」（運輸一般）など際限のない規制緩和を告発する発言がつづきました。総会は、広範な労働者・国民に改悪内容と問題点を知らせ、共同を広げることを確認しました。当面は、今国会上程予定の女子保護規定の改悪阻止をめざした運動を強めるーなどをきめ、宣伝・署名、学習（県連絡会は三月九日に学習討論集会）を職場・地域ですすめていくことをきめました。

〝労働者の人ころがしは許せない〟と1月28日、労働法制県連絡会を結成

シリーズ 愛知の争議 ⑧ 勝利に向かって

全動労東海地方本部
55歳賃金差別原告団

JR貨物は55歳からの賃金差別をやめよ!!

国民の共有財産であった公共交通機関の国鉄を、ただ同然で大企業に分けあたえた「民営・分割化」から十年たちました。

JRに移行してから、もうけ第一の経営によって駅の無人化、ホーム要員の削減などで事故や故障が続発し、新幹線三島駅の事故のように尊い命が犠牲にされています。

一方JR職場では、利用者や職場労働者の要求を掲げてたたかっている全動労や国労に対して、昇格や昇給差別、元職から売店への配転などの差別が強行されています。

全国のJR各社では、定年が六十歳にもかかわらず五十五歳から出向、賃金の減額をおこなっています。五十五歳以降の賃金減額や原則出向を廃止し、六十歳まで安心して働ける労働条件の改善は、JRで働く十九万労働者とその家族の切実な要求です。

私たちは、JR貨物の賃金差別に対し、一九九五年十二月、「会社の都合で五十五歳以降も運転士として働かせながら、三〇％の賃金減額は、憲法・労基法にも違反する年令による差別」であると減額された賃金の支払いを求めて名古屋地裁に提訴しました。

三〇％の減額は、手取りが二十万円そこそこで、人間らしい生活をすることすらできません。

各企業で年齢を理由とした賃金差別や雇用形態を理由にした差別がおこなわれている中で、私たちの提訴には大きな期待が寄せられています。

私たちは労働者の生活と権利を守るたたかいとして奮闘する決意です。

皆さんのご支援とご協力をお願いいたします。

クイズ回答「ショウヒゼイナクセ」

新年号クロスワードクイズにご応募ありがとうございました。正解は「消費税なくせ」でした。当選者には、図書券をお送りします。

編集部一同、読者の皆さんに親しまれる機関紙づくりに努力したいと思っています。今年もよろしくお願いします。

当選者のお名前（敬称略）

鈴木義男（全動労）、横田智子・稲垣孝子・青木章・富田義民・板元伸夫・尾関伸治（名古屋市職労）、千田嘉明・小崎弘美（愛高教）、加藤栄子（全法務）、久保進（全運輸）、小原真由美（医労連）、小木曽久美子（名勤生協）、合田亨子（きずな）、栗林純雄（郵産労）、蟹江吉弘（中水労）、林肖吉（春日井市職労）、高宮美雪（犬山市職労）、井上昌子（建設一般）、堀江久住夫（年金者組合）

この春名古屋を変えなくっちゃー

市長選挙勝利

呉服の大祭典

●とき　2月21日(金)・22日(土)
●ところ　自治労連愛知県本部
☎（052）916―2251

■協力
愛知県労働組合総連合
自治労連愛知県本部
名古屋市職員労働組合
■主催
協同組合　西陣民主地場産業振興会

全労連第6回文学賞作品募集

募集部門

★小説部門　原稿用紙30枚以内（シナリオ、戯曲を含む）
★自分史部門　原稿用紙8枚以内（ルポルタージュを含む）
★詩部門　原稿用紙5枚以内、3編以内
★短歌部門　20首
★俳句部門　20句

①応募締切り　5月末日／②応募資格は問いません。／③応募できる部門は、1人につき1部門。／④原稿用紙は、400字づめの用紙をたて書きで。ワープロ打ちも可、字数明記。／⑤ホチキスどめはしないでください。／⑥1年以内作の未発表作品に限ります。但し、個人・同人誌、労組機関紙・誌発表は可。封書に部門名を明記。

■105 東京都港区新橋6－19－23「平年と労働会館」6F
☎03(5472)5841㈹　全労連教宣文化局　文学賞作品募集係まで。
応募作品は返却しません。

賞金と発表

★賞金は各部門とも、人選1点10万円。佳作若干　点各1万円
★受賞作品の発表は9月の全労連新聞で。

審査

★全労連幹事会の責任で審査を行います。
★審査員〈小説〉稲沢潤子／右遠俊郎／佐藤静夫／鴨川孝司〈自分史〉小森香子／森与志男／山口勇子／杉浦公一〈詩〉秋村宏／滝いく子／土井大助／三上満〈短歌〉松田みさ子／水野昌雄／向井毬夫／引間博愛〈俳句〉石川貞夫／石塚真樹／谷山花猿／大江光

■応募作品には、所属組織・職場名・連絡先・電話番号・氏名を明記してください。